

Passport

2022 SPRING Vol.47

男らしさ、女らしさにとらわれず、自分らしく暮らせる社会。お互いに認め合い、個性と能力を発揮できる佐賀市の実現をめざしましょう。

女・男フォーラム
「女性の視点を取り入れた防災講座」



男女共同参画フォーラム
「自分らしく生きよう」



作ろう!マンガ肉!
パパと子どもの料理教室



家事・育児に積極的なお父さん紹介
男女共同参画推進協賛事業所紹介!!



CONTENTS

- ・女性の視点を取り入れた防災講座&消防団インタビュー……P1
- ・男性の家事・育児参画啓発キャンペーン ……P5
- ・男女共同参画フォーラム・男女共同参画講座……P2
- ・男女共同参画推進協賛事業所紹介 ……P6
- ・ワーク・ライフ・バランス公開研修会………P3
- ・SDGs~制服について~
- ・パパと子どもの料理教室「クリスマスにマンガ肉を作ろう!」…P4
- ・日本女性会議2021in甲府 ……P7

今だから学ぼう！**女性**の視点を取り入れた防災

東日本大震災当時、小1・年中の幼い子ども2人を連れて「被災者だから避難さえすれば守ってもらえる」と、何の準備もせず避難所まで逃げたというしほママ。熊本に転居してから防災士の資格を得て、地震・豪雨の2回の災害に遭遇された時も「同じ事で困らない」をモットーに、つらい体験の教訓を活かした様々な知恵や工夫で乗り越えて来られました。

日々の暮らしの中で培った女性目線はとても有効で、**防災力は人間力でもある**という言葉に、会場の多くの参加者のうなづく姿がありました。また、自分自身の安全確保への防災準備が、災害時に**配慮**というゆとりを持つ為に不可欠。宮城県で最初の避難当時は年中だった息子さんは、今や高校1年生。母の背中を見てきた彼は防災士の資格を取得し、若い感性やITを活かした様々なアイデアで柳原さんと共に活躍中と、笑顔で話されていたのが印象的でした。

講師 歌う防災士しほママ(柳原志保さん)
「わが家の心得5か条」

普段出来ない事はいざという時できない!

- ①自分ができることは自分で
- ②コミュニケーションは自分から(挨拶)
- ③片付け整理整頓(段取りと安全な空間)
- ④生活リズムを整える(メンタルケア)
- ⑤前向きにトライ

★皆さんも実践してみましょう★



感想 災害(突然の自然の猛威)に直面することは誰にも避けられず、その頻度は年々高まっていると実感しています。

知恵を絞った準備や防災行動の積み重ねは、仮に災害を受けてもダメージが全く異なると、改めて痛感しました。つらい状況を何度も経験されたからこそ**日々の工夫**や**明るい笑顔**そして**歌声**は、参加した全員の胸にずっと響いたことを強く感じました。「クロスロード」ゲームでは自分の考えやほかの人の考えを知り話し合うことで、より実感を持って参加でき2時間半がアツという間でした。

【編集委員:友安 賀代子】



佐賀市消防団女性部へインタビュー



【佐賀市消防団女性部のPR】女・男フォーラムでは、消防団PRがあり、鮮やかなオレンジと濃紺の団服姿の代表16人が、日頃の活動を通して学んだことや成果を発表。パワーアップをめざし、若い世代にも佐賀市を守る仲間になってほしいと、力強くアピールされました。

～自分が持つ「すき間時間」で、地域に寄り添い役立ちたい!～

東与賀支団 吉田浩子さん、大和支団 内田尚子さんにインタビューしました。

Q 実際に入団して感じたことは?

吉田 意外と楽しい!異年齢・異業種の人との交流で、地域に顔見知りが増えました。

Q 活動を続ける原動力は?

内田 年末の防火指導で高齢世帯を訪問すると「話が長くなったのに、ちゃんと聞いてもらって嬉しかった!来てくれて本当にありがとう。」と何度も言われます。そんな時は、こちらも**嬉しくて笑顔**になります。

吉田 誰かの**役に立てると**いう喜びと、活動を通じた**地域の方々とのふれあい**ですね。それから学んだことが自分のためにもなることです。



感想 女性部は防災に関する啓発や被災者への寄り添いなど細やかな気配りがいかなる活動。一人でも多くの仲間が増えてほしいと、一層強く感じました。【編集委員:友安 賀代子】



東与賀支団
防火マスコット

男女共同参画フォーラム

主催:佐賀県立男女共同参画センター(アバンセ) 佐賀市

令和3年9月23日
アバンセホール

対談 「～自分らしく生きよう!ジェンダー平等が大事なワケ～」

ゲスト:りゅうちえるさん、インタビュアー:佐賀大学 吉岡剛彦教授

りゅうちえるさんは沖縄県生まれ。子どもの頃からままごとや人形遊びが好きで、周りは女の子のように遊ぶ自分を心配していた。そのことで自分を隠すようになった。「自分らしい自分でいたい」と考え、環境を変えるために地元から離れた高校に通った。高校時代にSNSに投稿したファッションに対して良い反応があり、自信を取り戻すことができた。ありのままの自分であることを決意し上京。どんな個性も受け止める「原宿」で活躍することになった。そこで、妻のぺこさんとの出会い、結婚し、1児の父となる。「自分を表現することは、勇気がいるがなりたい自分になることが大切。父親なら、母親ならこうあるべきと役割分担はせず、できる人、気付いた人がやる。育児セラピストの資格を持ち、子どもが「自己肯定感」を育むことに重きをおいている。男だから女だからなど色々なことで自分の可能性を狭めているのはもったいない。好きな自分より、楽な自分を選んでいいのでは。…」など、話された。

パネル
トーク

「社会を変えるのは私たち!私がつくる 私の未来」

■パネリスト

○宮島 好咲さん・牟田 麗水さん(牛津高等学校家庭クラブ)

家庭科の授業で得た知識や技術を活かして商品開発を行い、地域と連携し、イベントの企画運営や小城市牛尾山の環境保全活動を行う等、地域活性化に取り組んでいる。

○牟田 純菜さん 学生団体「Share」

学校、学年の隔てなく集まる場として「高校生交流カフェ」を開設し、高校生、地域、子どもなどの居場所作りを進めた。活動から自信やコミュニケーション能力、知識などが向上した。

○茜さん(佐賀LGBTs支援団体SOIGIEs共同代表)

私らしく生きたいという想いからLGBTs成人式などを開催した。自分たちが思っている以上に周りの人たちは理解し、活動を知ろうとしてくれていることがわかった。



感想

りゅうちえるさんや次世代を担うパネリストの方々の考えや活動などに、これからの時代に明るい光が見えたようでした。「なりたい人になる」「可能性を狭めずに、進む道は自分で見つける」など学ぶべきことが多く、生きる力をもらったフォーラムでした。

【編集委員:松永 光子】

地域の公民館で男女共同参画講座を開催しています。 ～佐賀市立勸興公民館～

令和3年度は春日・本庄・若楠、勸興の各公民館で開催。男女共同参画の座学と朗読劇の2部構成で、男は仕事・女は家庭といった役割分担意識に気づき、行動へつなげてもらうための参加型の講座です。令和4年1月21日に行われた勸興公民館の講座を取材しました。

【座学】 講演「変わるなら今」自分から ～ジェンダーの枠組みって?～

(講師 佐賀市社会同和教育指導員 江崎 美枝子さん)

子育てに関する「男の子らしさ」の例では、地域の習慣の中で成長する時に刷り込まれた無意識の思い込みや、先入観・決めつけによる偏見に気づいて、参加者から、思わず共感の笑い声が出ていました。

多様性についての「ちがうことばんざい」という詩が静かな声で読まれると、じんわりと心に沁み込んでいく感覚になりました。

【オリジナル朗読劇】

(佐賀市男女共同参画ネットワークによる上演)

「孫と一緒に楽しいね」佐賀が「イクメン日本一」って本当?」

配役は、参加者や公民館スタッフに突然の指名があり、練習なしのぶっつけ本番での朗読劇。役になりきっての熱演は、皆さん「うまい」の一言。会場から大きな拍手が湧き上がりました。

肩に力を入れて大上段に構えるのではなく、今まで何となく感じていた「これって変じゃない?」という生きづらさを、笑いながら、楽しみながら口に出して気づき合う事の繰り返し。世界でのランキングを気にするより、ずっと有効な意識変化への行動に思えました。

【編集委員:友安 賀代子】



令和3年度
佐賀市ワーク・ライフ・バランス推進の
ための公開研修会

「ダイバーシティと働き方改革」

講師：株式会社サイズラーニング 代表取締役 高見 真智子さん

1月26日(水) オンラインと対面にてハイブリッド開催

労働人口の減少や労働者の価値観の変化、また顧客ニーズの多様化が課題となる中、女性を含む多様な属性や多様な感性・能力・経験などを持った人材を確保し、それぞれが能力を最大限発揮できるようにするダイバーシティ経営の推進が求められています。企業におけるダイバーシティ(多様性)の大切さと、そのために必要な働き方改革の進め方を具体的に講演していただきました。

第1部

働き方改革がダイバーシティ推進に必要なわけ

- ダイバーシティとインクルージョンの潮流
 - ・多様性と包摂は組織の非財務価値といわれる時代へ
 - ・経営とジェンダー平等
 - ・サプライヤーダイバーシティで見られる多様性推進へ
- 働き方改革とダイバーシティ推進
 - ・働き方改革で進化する人の多面性とかけ合わせ
 - ・余白が生み出すイノベーション
 - ・生産性と柔軟性を切り口に考える働き方改革



第2部

自社の課題がわかる!働き方改革の具体的な進め方

「働きがいと多様性の「かけ算」を生み出す職場づくりを考える」



感想

企業では、リーマンショックとコロナ禍という2つの大きな危機から多くの学びを得て、リスク対応策(災害を含む)に取り組み、多様性を活かし、様々なかたちで働き方改革に踏み出しています。

先進事例として紹介された企業は、取り組みの効果はすぐに表れなくても創意工夫をしながら、長年にわたり、全体で取り組みをやり続けていたと話されたのが印象に残りました。

色々な課題はありますが地道に継続的に取り組むことが働き方改革のカギではないかと考えました。

【編集委員:松永 光子】

事業主の皆様 ご存じですか?

育児・介護休業法の改正が、4月1日から段階的に施行されます

男女とも仕事と育児を両立できるように、雇用環境整備、個別周知・意向確認の措置が義務化されます。

●育児休業を取得しやすい雇用環境の整備

育児休業の申し出が円滑に行われるようにするため、事業主は、次のいずれかの措置を講じなければいけません。

- ①育児休業・産後パパ育休に関する**研修の実施**
- ②育児休業・産後パパ育休に関する相談体制の整備等(**相談窓口設置**)
- ③自社の労働者への育児休業・産後パパ育休**取得事例の収集・提供**
- ④自社の労働者へ育児休業・産後パパ育休**制度と育児休業取得促進に関する方針の周知**



●妊娠・出産の申し出をした労働者に対する個別の周知・意向確認の措置

本人または配偶者の妊娠・出産等を申し出た労働者に対して、事業主は育児休業制度等に関する次の周知と、休業の取得意向の確認を個別に行わなければなりません。

- ①育児休業・産後パパ育休に関する制度
- ②育児休業・産後パパ育休に関する申し出先
- ③育児休業給付に関すること
- ④労働者が育児休業・産後パパ育休期間について負担すべき社会保険料の取り扱い

詳しくは厚生労働省のホームページをご確認ください。



パパと子どもの料理教室



令和3年12月19日(日) ほほえみ館 健康料理講習室

クリスマスにマンガ肉を作ろう!レポート



家事の中でも最も負担が大きい「料理」に、パパが取り組むきっかけとなるよう「パパと子どもの料理教室」を開催しました。講師は、簡単に作れて美味しい料理を自身のブログやYOUTUBEのほか、色々なメディアで紹介されている料理人の藤吉和男さん。12組の親子と2児の父でもある坂井英隆市長が参加し、自宅でできるクリスマスメニュー:マンガ肉、グラスサラダ、卵スープ、グラスケーキを作りました。



最初にマンガ肉の作り方を教わりました。パパも子どもたちも真剣に聞いています。



ひき肉を練って、マンガ肉のタネをつくっています。



ラップで包んで形を整えます。



調理の合間に洗い物も済ませておきます。



グラスサラダは、カップにドレッシング、ツナ、ミニトマト、チーズ、レタスを順番に入れて、最後にひっくり返すだけ。簡単できれい!



市長のマンガ肉もこんがりきれいに焼けました。

感想

漫画のワンピースにでてくるような形に整えるために苦心するお父さん、焼き上がりを気にしてオーブンのぞき込む子どもたち、グラスの中にカステラやフルーツを並べる兄弟、親子で助け合って完成させようと四苦八苦する姿、写真を撮りながら、心配そうに見ているお母さん、そして、着任されたばかりの市長も参加されて本当に和気あいあいとしたとても和やかな時間でした。コロナ禍のため試食の時間はとることはできませんでしたが、お家に帰ってから、みんなで楽しく笑顔で食べている姿が目浮かぶようでした。

【編集委員:矢ヶ部 ひとみ】



筋肉料理人・藤吉和男さん



マンガ肉



グラスサラダ



ふわふわ卵スープ



グラスケーキ

佐賀市ホームページで
レシピ公開中!
ぜひご自宅で
チャレンジして
ください。



男性の家事・育児参画啓発キャンペーン

家族はチームだ!

みんなでやろう家事・育児

家事や育児は、家族が協力し合って取り組むこと。しかしながら、佐賀県の男性の家事関連時間は37分^(※1)で、全国46位とかなり少なく、家事や育児の負担が女性に偏っているのが現状です。「家族はチームだ!みんなでやろう家事・育児」を合言葉に、家事や育児に積極的に取り組むパパの姿をシリーズで紹介していきます。

※1「社会生活基本調査」
(H28・総務省)

市HPでイクメン
続々紹介中!



**家事は子どもも一緒に
楽しくやって効率アップ!**

家事は大人だけでなく、子どもも巻き込んだ方が早く終わって効率がいいと気付きました。最初はうまくできなくても決して叱らず、褒めて伸ばすと戦力になってくれます!

諸田 智彦さん(34歳)
勤務先>佐賀信用金庫
家族構成>パパ+ママ+娘(5歳)+息子(2歳)
得意な家事>掃除・洗濯・子どもの爪切り

**完璧を求め合わず、
心地良い!!と思える暮らし方がイチバン!**

家事を完璧にしようとする無理をしても、結局は長続きしませんよね。ずっと一緒に楽しく暮らしたいからこそ、手を抜くところは抜き、家族みんなが笑顔で過ごせることを大切にしています。

酒邊 博史さん(36歳)
勤務先>有限会社佐賀情報ビジネス
家族構成>パパ+ママ+息子(5歳)
得意な家事>洗濯物を畳む、食器洗い、メダカの世話

**保護者会やPTA役員もおまかせ!
夫妻それぞれ「できること」を引き受ける**

妻のフルタイム勤務開始を機に、家事・育児の分担を話し合いました。私の主な担当は洗濯やアイロンかけ。息子の部活の保護者会やPTA役員も引き受けました。お互いに何を求めているのかを把握することが大事だと思います。

高洲 昌典さん(42歳)
勤務先>九州電力株式会社
家族構成>パパ+ママ+息子(14歳・12歳・9歳・6歳)
得意な家事>洗濯・アイロンかけ・ゴミ出し

**自分から子どもに「好き!!」を
伝えることを大切にしています**

帰宅したら、まず子どもたちをギューと抱っこ。そして4人でお風呂へ!育児を分担するには、子どもが父親にも懐いてくれることが必要。そのためには、自分から思いきり愛情表現することが大切だと思います。

中尾 和之さん(49歳)
勤務先>西日本総合コンサルタント株式会社
家族構成>パパ+ママ+息子(5歳)+娘(3歳・1歳)+祖母
得意な家事>食事の残片付け・風呂掃除

**なんでも「やってみよう」がモットー
楽しく生きていく姿を子どもに見せたい**

週末に5日分の食事を作り置きしています。料理は好きで、変わり種の食材にも果敢にチャレンジ。たまに失敗しても問題ナシ!家事や育児も仕事も、楽しくやっていると子どもたちには見せたいと思っています。

辻田 忠志さん(44歳)
勤務先>国立大学法人 佐賀大学
家族構成>パパ+ママ+娘(12歳・10歳)
得意な家事>料理・庭掃除・物の修理やDIY

**物事をさまざまな角度から
見られるようになりました**

家事や育児をするようになってから、これまで妻や両親がしてくれていたこと、ありがたさを感じるようになりました。家族との暮らしを通じて、自分の視野が広がったように思います。

木村 哲也さん(53歳)
勤務先>松尾建設株式会社
家族構成>パパ+ママ+息子(5歳)
得意な家事>ゴミ出し・部屋掃除

○今回紹介した皆さんは、佐賀市男女共同参画推進協賛事業所から推薦していただきました。

佐賀市男女共同参画推進協賛事業所紹介

市とともに男女共同参画の推進に積極的に取り組んでいただいている協賛事業所を紹介します。(五十音順)

株式会社有明電設
(兵庫北)
設備工事業



当社は昭和45年創業以来、電気工事業を基盤として地域の皆様に親しまれ、信頼される会社として歩んでまいりました。毎週水曜日のノー残業デーの推進や育児休業を取得しやすい職場環境の構築、就学児童をもつ従業員の学校行事やPTA活動への積極的参加の奨励など、男女共に働きやすい環境づくりに積極的に取り組んでいます。

公栄工業株式会社
(久保泉)
金属製品製造業



当社は2013年に久保泉第二工業団地に移転し、あらゆる金属の部品加工を手がけております。働き方改革による年次有給休暇の取得、育児休業、学校行事等にも参加しやすい環境づくり、勤務時間の選択など、柔軟な働き方を促進できるよう取り組んでいきたいと考えております。

株式会社JA建設
フリエイトさが
(大和)
建設業、運輸・倉庫業



JAグループさがの一員として建設業を柱とし、倉庫・運輸業、不動産、農業支援など様々な事業を通じて、地域の発展や社会貢献に努めています。社内では、働き方改革による有給休暇の取得推進、女性の職域の拡大や資格取得支援、メンタルヘルスケア対策等、男女共に働きやすい環境づくりに取り組んでいます。

大和証券株式会社
佐賀支店
(駅南本町)
金融商品取引・商品先物取引業



当社では、男女問わず優秀な人材を積極的に登用しています。女性活躍支援については、女性社員を積極的に登用し、結婚や出産等のライフイベントを経ても生き生きと働き続けられるよう環境整備を進めています。今後も多様な人材が活躍できる高次元のワーク・ライフ・バランスを通じて「誰一人取り残さない」職場の実現をめざします。

社会福法人凌友会
特別養護老人ホーム
桂寿苑(久保泉)
社会福祉・介護事業



1981年に開苑し、今年で41周年を迎えました。入所・在宅・居宅介護などのニーズに応じた福祉サービスを提供しています。

子育て支援制度の利用率は100%で安心して子どもを産み育てられる環境です。また、ハラスメント防止に積極的に取り組んでおり、有休・特休の取得もしやすい雰囲気、男女ともに働きやすい職場環境が整っています。

男女共同参画推進協賛事業所 募集中!

事業所での男女共同参画の推進は、子育て環境の整備や仕事と家庭生活の両立支援など、事業所のイメージアップに繋がります。
協賛事業所への登録をお待ちしています!

担当：佐賀市人権・同和政策・男女参画課
男女共同参画室

電話：0952-40-7014

FAX：0952-34-4549

申込用紙は佐賀市ホームページからもダウンロードできます。

詳しくは佐賀市HPをご覧ください。

<https://www.city.saga.lg.jp/main/3196.html>



5 ジェンダー平等を
実現しよう

ジェンダーの平等を達成しすべての 女性と女の子のエンパワーメントを図る



変わる!
中学校の制服

ジェンダーアイデンティティーの選択は本人の自由意思に任せる、という考え方が学校教育現場にも取り入れられるようになった。まず、生活指導や進路指導、役割分担決めの際、性別ではなく、個々の個性に基づいた評価や指導が進められている。次に、科目・教材の共通性、そして男女混合名簿が進められてきた。衣服については、作業着や体操服は共通のデザインになりつつあるが、制服についてはまだまだである。

令和4年3月現在、佐賀市立中学校18校のうち、制服を選択制にしたのは4校(成章・鍋島・諸富・川副)、選択制を検討しているのは14校である。制服については、生徒本人の意向が最大限尊重されるべきであると思うし、それを理解する社会でありたい。
【編集委員:草場 栄美】

日本女性会議2021in甲府参加報告(2021年10月22日・23日・24日開催)

2021(令和3)年10月22日、23日山梨県甲府市で、未来へつなぐまちづくりは人づくり～甲斐の国からともに～をテーマに「日本女性会議2021in甲府」が開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大のなか、昨年に続きオンライン形式で実施されました。



日本女性会議
2021 in 甲府

今年度は基調報告(内閣府男女共同参画局長林伴子さん)のほか、シンポジウム「38年目の総括と未来～日本女性会議2021in甲府からの提案」、産婦人科を舞台にした「コウノドリ」の作者鈴木ノ木ユウさんの「性の多様性」をはじめ、様々なテーマで10の分科会が行われました。シンポジウムにおいては、38年目を迎える日本女性会議がもたらした功績や意義を振り返り、「曲がり角」に立つ日本女性会議の今後のあり方が提案されました。メインシンポジストに上野千鶴子さん(社会学者・東京大学名誉教授)をはじめ、今までの大会を支えてこられた実行委員長の方々をシンポジストに議論がなされました。

感想

オンラインによる参加でしたが、とても意義ある体験ができました。2021年は武田信玄公生誕500年だそうです。信玄公の「人は石垣、人は城」=「人こそが財産である」の価値観を改めて考えていくことが必要だとも感じました。ジェンダーギャップ指数日本は156カ国中120位(先進国最下位!)女性議員10.2%190カ国中165位(衆議院2021年9月現在)、こんな現状の日本が本当に変わっていけるのか?男女不平等は本当に根深いものがあります。無意識の性別に対する思いこみ(アンコンシャス・バイアス)もあります。でも、まずは「知ること」からがスタート、あきらめずに考え発信し未来につなげて行かなければならないと思いました。
【報告者:高橋 朋子(令和3年度日本女性会議市民参加者)】

編集後記

坂井英隆市長も育児休業を取得されたように、男性が積極的に家事・育児に関わることは、男女共同参画社会の実現には必要なことです。今号が、少しでも、この流れを加速することができたら、うれしいです。

編集委員(五十音順)

・椛島陽一郎・草場栄美・友安賀代子・松永光子・矢ヶ部ひとみ
※編集委員は市民の方にご協力をいただいております。

発行・お問い合わせ

ぱすぽーとに関する
ご意見・ご感想をお寄せください。

佐賀市 人権・同和政策・男女参画課(ほほえみ館2階)
TEL 0952-40-7014 FAX 0952-34-4549
E-mail jinken@city.saga.lg.jp
U R L <http://www.city.saga.lg.jp/>(佐賀市HP)